

山行申し込み、個人山行の届けは平井へお願いいたします。

携帯メールアドレス：tad-hira@ezweb.ne.jp または P C アド：izc00565@nifty.com

## いわて生協山の会：2023 年 10-11 月の山行計画

山行日	行き先	難易度	参加費	参加〆切	備考
10/21(土)	朝島山	★☆☆☆	500 円	10/16	盛岡の里山。往復 2 時間ほどです。
10/26(木)-28(土)	琵琶湖周辺の山	★★☆☆	60,000 円	〆切	琵琶湖周辺の山、藤原岳・武奈ヶ岳・御在所岳を巡ります。
11/5(日)	空雲山	★☆☆☆	800 円	10/29	岩手山と姫神山が並んで見えます。
11/11(土)	月山(北上)	★★☆☆	1,000 円	11/6	整備された歩き易い登山道です。
11/14(火)-18(土)	屋久島・開聞岳・霧島山	★★★★	10 万円	〆切	九州の百名山 3 つを巡ります。
11/25(土)	納山会	—	3,000 円	11/15	山域と宿泊先を検討中です。

参加費は 5 人参加の場合の概算です。人数により変更あります。予めご了承ください。申し込みは平井へ

### 県連行事のご案内

10/29(日) 内陸と沿岸の交流山行・金華山(みちのく潮風トレイル)

牡鹿半島の海上に浮かぶ霊嶋・金華山東奥三大霊場として知られている信仰の島です。

滝沢本部発 5:00⇒9:00 鮎川湊フェリー乗場集合⇒海上タクシーで金華山へ

金華山トレイル(約 2 時間)と千畳敷トレッキング⇒海上タクシー 15:00 鮎川港(解散)

⇒滝沢本部 18:00 着 参加費：¥3,000(海上タクシー代) 参加〆切：9/26

○ステップアップ講座 11/12(日)9:00~15:00 \*開催要項は検討中です。

○雪崩講習会 11/26(日) 入門講座(座学) 12/10(日) ステップアップ講座(座学)

2023/1/28(日) 実技講習(初級・中級)

### 「2024 年・私が登りたい山」を募集します

毎年募集している、来年「私が登りたい山」を出し合いましょう

\*年内に出していただき、年明けから希望の多い企画を優先しながら企画を具体化していきます。2023 年の希望との重複も OK です。リベンジ企画の希望も歓迎します。

\*遭対基金の更新は 1 月です。変更希望のある方は 12/10 までにお知らせください。申し出がない場合は、そのまま継続とします。

次回の例会は 2023/11/9(ホ) 18:30~ ベルツ青山 2F 会議室にて  
12 月の会山行と 2024 年度の県外山行計画などについて話合います。

## ■9/10(日) 栗駒山



参加者 CL/井・泉・照井・フク子・女鹿 5名  
生協本部、6:00 出発、5人参加です。朝早く東に向かって走ってるので、朝日がまともに当たり、眩しい。朝早いので道路空いてた。集合場所に早く着く。8時45分登山口着、まだ、売店は、開いていなかった。須川高原温泉の登山口から登る。名残が原の湿原見て、昭和湖を眺めて、刈り払いしていないコース。這松藪こぎ、雨上がりで先頭の平井さん、ずぶ濡れになって進んでくれました。お疲れ様でした。天狗平、10:40分。11:00 頂上です。南側は、雲で、下が見えませんが、須川湖が、見える方は、下が良く見える。お昼ご飯済ませ 11:30、下山です。正当な道をすすむ。下の景色が良くみえた。13:30 登山口着。売店で土産を買って帰路に、お世話様でした。天気にも恵まれて、ありがとう御座います。(フク子)

## ■9/17(日)-18(月) 蔵王古道(県連県外遠征山行)

参加者 CL/金子・SL/平井・泉・シガ・中根・藤倉 6名(27名)

9/17(日) 天気予報は曇りのち晴れ。盛岡 IC 7:30 に乗車。花巻からも乗車して、総勢 27 名で蔵王古道・宝口登山口に向かいます。11:00 登山口手前で身支度をして、会ごとに出発です。11:20 県道と蔵王山登拝路分岐点



に蔵王大権現石碑、100m ほど歩くと随伴の王子権現(姥神様)が立て膝にギョロ目で大きく開いた口で見送ってくれました。怖い！11:45 行別地藏(いきわかれじぞう)1合目。俗人と行者の別れ、温泉と修行の別れの地。林道を何度も横こぎり、13:00 垢離場(こりば)2合目。先人の行者は滝で身を清めて参拝に向かったらしい。手作り看板やピンクテープがたくさんあり、よく整備されています。14:20 沢を渡ると唄の沢(うたのさわ)3合目。15:00

不動滝(4合目)立派な滝と不動明王が鎮座。15:00 独こ沼(どっこぬま)5合目、水神様の石碑。蔵王中央 RW で一旦下山。16:00 国民宿舎竜山荘、予定通り到着して、ゆっくり汗を流し、皆さんと懇親会です。それぞれの活動を紹介されて、釜石労山や花巻山友会の方々の若返り活動が素晴らしいなあと感じました！メンバーが若いからと言うわけではないのですが、色々話しを聞くのも刺激になるものですね！いつも、お世話いただき本当にありがとうございました。(藤倉)



9/18(月) 2日目の今日は蔵王行動予定コースの残り半分を歩きます。蔵王温泉国民宿舎の朝食を済ませ、蔵王中央 RW 乗場に向かう途中のローソンで、各自お昼のおにぎり弁当を受け取り、始発 8:30 の RW に乗り、鳥兜駅で降りる。各会毎に列をなし、パラダイスゲレンデの中を進んでいく。蔵王スキー場の広さに驚くも、蔵王古道もゲレンデで分断されており、林の中に入ったと思うと又ゲレンデに出て、草地を踏みしめ高度を少しづつ上げていく。時々秋を感じさせる涼しい風と、リンドウ・ウツボグサ・シラタマノキなどの花々に元気をもらい、9:35 に7合目「ザング坂」に到着です。「いにしえ」の人達もここで自分の罪や穢れを祓い清め、

登って行ったのだろうか。その上には「スキーゲレンデ樹氷原」と書かれた標識が掲げられてあり、冬スキー客は「スノーモンスター」と呼ばれる樹氷の銀世界の冬景色を楽しみながら滑走するのだろう。しかし、一部



分だけゲレンデの脇や近くの山肌一面の立枯れた「シラビソ」の木を目にすると、自然が少しずつ壊されているのだろうかと考えてしまう。10:05 地蔵山 RW 山頂駅に到着。すぐ近くに高さ 2m ほどの地蔵尊が鎮座しており、お参りすることで災難をよけ、願い事も叶えられるそうです。10:35 遮る物が何も無い地蔵山山頂に到着です。山頂からの眺望はガスって何も見えません。下山は木道やワサ小屋跡の

鞍部へ向かい、手の行き届いた石畳の道を下っていくが、最高峰の熊野岳までは分かりにくいルートが続く。岩場の白ペンキでマークが付けられているが、道に迷いそうなところには高さがほぼ同じ木の柱が等間隔に立ち並び、濃霧の時の道しるべになっている。11:25 熊野岳の山頂です。熊野神社や避難小屋があり、ここでお昼

タイムです。記念撮影の後、下山すると 10 分ほどで馬の背に出ると、目の前には蔵王のシンボルの「お釜」がエメラルドグリーンの湖面を見せ、その円形の火口湖は蔵王の象徴的な景観だ。カメラを持った多数の観光客が訪れていた。12:30 刈田岳山頂には刈田神社奥宮が建ち「蔵王」の山名の由来となった「蔵王大権現」が祀られていました。「御山山詣」という遠刈田温泉への山伏たちの修行の道は、蔵王エコーラインの開通後歩く人が減り、忘れられた道を地元の人達で 50 年ぶりに復元していただき、私は刈田岳から初めて「御釜」の裏側を歩くことが



できました。火口の周りの茶褐色の荒々しい断層の凄さに、火山爆発の大きさも想像できます。この長い「蔵王古道」を守るため毎年山道の刈り払いや倒木の除去などの整備活動も本当に大変なことと思います。何度か古道は蔵王エコーラインを横切り、「賽の碓」を通り、14:15 やっとバスの待つ駐車場に着きホッとしました。バスに乗り込み、遠刈田温泉で汗を流し、16:00 に村田 IC から東北道に入り、予定通りの時間で盛岡 IC に到着です。盛岡山友会・アウトドアを楽しむ会・花巻山友会・釜石労山の総勢 27 名の方達との交流も有意義な 2 日間でした。何よりも参加者全員ケガもなく、天候にも恵まれ、楽しんで帰ってこられたことに感謝です。お世話になりました。ありがとうございました。(泉)



## ■9/22(金) 三石山

参加者 CL/金子・泉・フク子 3名  
生協本部 6:00 出発です。奥産道に入り立派なゲートが立ち  
はだかると、この先車もオートバイも通れません。9月の紅葉  
狩りのこの時期、登山者の車で駐車場が混み、大変なので土  
日を避けたのですが、まだ車は 1 台も停まっています。35  
分程舗装道路を歩くと登山口です。7:20 です。5 分ほど歩くと  
滝ノ上温泉との分岐になり、昨日降った雨でゴツゴツした

岩は濡れており、ぬかるみ状態の道は足の置き場に苦労します。リーダーから「長靴で」との連絡があり、大正解でした。8:00 木道が出てくると池塘が、そして三石山荘が目に飛び込んできます。いつ訪れてもウッドデッキは広く、小屋の中も掃除が行き届いた素敵な山小屋ですね。小屋から頂上方面を見上げると山肌は濃いグリーン一面で、「紅葉だ！」の声は出てきません。池塘の周りにはリンドウやオオカメノキの赤い実が、緑に彩りを添えています。頂上に近づくほどイワイチョウの葉が黄色になり、草紅葉も少し始まっています。白いリンドウの花にも会えました。8:45 三ツ石山の頂上です。風があり少し肌寒いくらいでした。周りの紅葉は「少し」色づき始めているというところでした。あと 10 日位すると見頃かな？遠く岩手山は雲の中で見えず、山の麓に雲海が広がり素晴らしい眺めです。三ツ石の小屋に戻ると「JR 東日本」の山岳部の方達が大量で休憩をとり、年に一度集まり山登りを楽しんでいるとのこと。「水戸から来ました」と話しているグループもあり、若い方たちが多く、楽しそうでした。9:20 小屋を出発すると 10 分位で舗装道路に出て、途中流れている雨水で長靴の泥を落とし、10:35 駐車場に到着しました。(泉)



## ■9/30(土)-10/1(日) 縫道石山

奥羽Bの交流山行です。今年は青森県の担当で下北半島の縫道石山(ぬいどういしやま:626m)です。1 日目は佐井村の民宿「みやの」に宿泊し、夕食交流会を行いました。大間のマグロのお刺身など 11 品目もの料理を楽しみました。岩手県連 14 名・

参加者 CL/金子・SL/平井 2名(31名)



青森県連 16 名の 30 名が参加しました。2 日目の登山には釜石労山から 1 名が当日参加し、31 名で登山しました。8:05 に出発。登山道は全体の半



分までは緩やかですが、残りはどんどん急登になり、頂上直下はほぼ垂直になりました。それでも 9:50 全員無事に登頂し、記念撮影して 10:20 下山しました。下山途中にババ岩というところに寄り道し、縫道石山やジジ岩を眺めることができました。12:40 登山口到着。昼食がおにぎり弁当のはずが豪華な折弁当で、山に持っていくわけにいかず、下山後に近くの道の駅「かわうち湖」で頂きました。往復とも金子さん一人で運転され、無事に帰ってこられました。ありがとうございました。来年は岩手県連の担当です。(平井)